

金子卓也会長 海上幕僚長感謝状贈呈式



11月15日（金）、東京市ヶ谷で開催された令和6年度自衛隊記念日行事において、金子卓也会長が海上幕僚長感謝状を贈呈されました。感謝状贈呈に際し齋藤聡海将より、「各種行事への参画やさせば自衛隊グルメの取組みを通じて、長年にわたり市民と自衛隊のかげはしとなって頂いていることに感謝申し上げます」との言葉がかけられました。

また今回、防衛基盤の育成等（団体の部で、当後援会理事の㈱佐世保航海測器社 代表取締役 水上陽介様が海上幕僚長感謝状を贈呈されました。誠にありがとうございます。

佐世保自衛隊後援会だより

（発行）
佐世保自衛隊後援会
会長 金子 卓也
佐世保市湊町6番10号
（佐世保商工会議所内）
TEL (0956) 22-6121

佐世保自衛隊後援会



ホームページ

■**自衛隊長崎地方協力本部長 佐々木昌貴1等海佐**
着任挨拶
8月1日付で第38代自衛隊長崎地方協力本部長に着任された佐々木昌貴1等海佐が、8月27日（火）着任挨拶のため来所され、橘高克和副会長が応対しました。佐々木本部長は、平成20年に護衛艦くらまで勤務されて以来の長崎県への赴任です。

「自衛隊長崎地方協力本部が地域の皆様と防衛省自衛隊のかげはしとなり、『組織を支える人』の充実を進めていきたい。そのために引き続き、採用・援護等への支援、協力を宜しく願います」と述べられました。

■**第21期一般海曹候補生課程 第384期練習員・第71期練習員（女性）課程修業式**
8月27日（火）、海上自衛隊佐世保教育隊で一般海曹候補生と練習員の修業式が行われました。各課程を終えた274人は、佐世保や呉、横須賀など各地区の艦艇、航空、陸上部隊に配属されます。

■**任期制隊員合同企業説明会**
9月5日（木）、パークベルズ大村で任期制隊員合同企業説明会が開催されました。本説明会は、各年度末に契約満了で自衛隊を退職する隊員（20代から30代前半）のうち、長崎県内の企業等へ就職を希望する隊員と企業が直接面談を行い、情報提供等を行う場として毎年9月頃に実施されています。当日は隊員17名と企業50社が参加しました。



金子容三衆議院議員 防衛大臣政務官に就任

第2次石破茂内閣の発足に伴い、地元選出の金子容三衆議院議員が防衛大臣政務官に就任されました。

【金子容三衆議院議員 オフィシャルサイトより】



重責で身の引き締まる思いです。国家安全保障戦略等に基づき防衛力の抜本的強化に取り組むとともに、自衛官の処遇や勤務環境の改善、新たな生涯設計の確立に取り組んでまいります。

■**海上自衛隊物品・糧食展示会**
9月12日（木）～13日（金）の2日間、海上自衛隊佐世保造船修補給所主催の「物品・糧食展示会」が開催され、隊員ら436名が来場しました。当後援会会員を含む県内外40社が「災害時に活躍する、勤務環境の改善に資する物品」、「国産・地域生産品、隊員の栄養改善・健康増進に資する食品」を出品。隊員らによる投票で多くの得票数を獲得した製品は、今後任務や舞台活動への適合性等を考慮した上で、補給品として選定、調達される予定です。

■**新隊員特設課程・一般曹候補生課程後期教育課程 修了式**
9月14日（土）、陸上自衛隊相浦駐屯地にて新隊員後期教育の教育修了式が執り行われました。76人の新隊員は、7月から10週間にわたり、同期と切磋琢磨しながら武器や射撃など普通科隊員としての能力向上に励みました。今後は3つある水陸機動連隊のいずれかに配置されます。

海上自衛隊 異動のお知らせ(2024年5～10月)

官 職	着 任 者	前 所 属
佐世保地方総監部 管理部長	1佐 浅利 進吾	自衛艦隊司令部
佐世保地方総監部 防衛部長	1佐 渡邊 雄一	青森地方協力本部長
佐世保地方総監部 監察官	2佐 奥村 博隆	佐世保海上訓練指導隊 副長
ミサイル艇おおか 艇長	3佐 大淵 寛人	佐世保水上戦闘開発指導分遣隊 指導科長
上対馬警備所 所長	3佐 大塚 理夫	ひゅうが砲雷長
佐世保音楽隊 隊長	1尉 長岡 英幸	東京音楽隊 副長
多用途支援艦あまき 艦長	3佐 柴木 博文	呉海上訓練指導隊 船務航海科長
佐世保海上訓練指導隊 司令	1佐 飯ヶ谷 孝広	第8護衛隊 司令
佐世保システム通信隊 司令	2佐 吉村 雄幸	舞鶴システム通信隊 司令
佐世保水上戦闘開発指導分遣隊 隊長	2佐 吉田 周司	対潜評価隊 兼 自艦隊 兼 潜艦隊
佐世保地方警務隊 隊長	3佐 前田 理崇	横須賀地方警務隊

官 職	着 任 者	前 所 属
第2護衛隊群 司令	1佐 江畑 泰孝	統合幕僚監部 指揮通信システム企画課長
第2護衛隊 司令	1佐 城 武昌	いずも艦長
護衛艦あけぼの 艦長	2佐 西岡 照道	自衛艦隊司令部
護衛艦あきづき 艦長	2佐 長野 恭介	さわぎり艦長
護衛艦こんごう 艦長	1佐 三浦 宏幸	佐世保地方総監部 防衛部第3幕僚室長
第8護衛隊 司令	1佐 田中 政臣	幹部候補生学校
護衛艦きりさめ 艦長	2佐 伊藤 正行	第2護衛隊群司令部
護衛艦すずつき 艦長	2佐 北村 友嗣	佐世保海上訓練指導隊 砲雷科長
護衛艦さわぎり 艦長	2佐 飯尾 啓正	海上幕僚監部 運用支援課
護衛艦じんつう 艦長	2佐 大野 茂	おうみ副長
護衛艦みくま 艦長	2佐 有馬 剛	くまの砲雷長
補給艦はまな 艦長	2佐 根本 征幸	自衛艦隊司令部
補給艦おうみ 艦長	1佐 萬年 敬	自衛艦隊司令部
第2掃海隊 司令	2佐 小川 朋之	海上幕僚監部 補任課

(2024年12月1日現在)

陸上自衛隊 異動のお知らせ(2024年5～10月)

異 動 先	離 任 者	官 職	着 任 者	前 所 属
第15旅団司令部(那覇)	1佐 西田 喜一	第1水陸機動連隊長	1佐 堀田 朗伸	陸上総隊司令部(朝霞)
陸上幕僚監部(市ヶ谷)	2佐 岩下 佳史	後方支援大隊長	2佐 中村 美雄	陸上幕僚監部(市ヶ谷)
システム通信・サイバー学校(久里浜)	2尉 元村 潤次	第321基地通信中隊 相浦・崎辺派遣隊長	1尉 内川 忠士	第321基地通信中隊(目達原)

即戦力となる人材の確保を検討している経営者の皆様へ 退職自衛官再雇用のご案内

自衛隊は精強性を保つため、多くの自衛官は、50代半ば以降（若年定年制自衛官）または20代～30代半ば（任期制自衛官※1）で退職することになります。退職予定の自衛官は、在任中に多くの資格、免許を取得、また企業の即戦力となるべく様々な再教育を受けた後に退職されます。企業皆様におかれましては、退職自衛官の再雇用については是非ご検討下さい。

若年定年又は任期満了による退職者数(令和5年度)

約7,600人

■ うち若年定年退職者数 約4,200人
■ うち任期満了退職者数 約3,400人

※1 任期制自衛官=主に高校、大学等を卒業後、2～7年間ほど自衛隊に勤務し、任期満了で退職する若手人材。

■退職自衛官再雇用問合せ窓口

(一財)自衛隊援護協会 福岡支部退職自衛官 福岡無料職業紹介所
〒812-0027 福岡市博多区下川端1-3 明治通りビジネスセンター(別館) TEL.092(271)2462

海上自衛隊佐世保地方総監部 援護業務課

〒857-8567 佐世保市平瀬町18番地 TEL.0956(23)7111 (内)3309

■自衛官の階級と定年年齢(2024年10月～)

区 分		階 級	略 称	定年年齡
若年 定年制		陸将・海将・空将	将	60歳
		陸将補・海将補・空将補	将補	
	幹部	1等陸佐・1等海佐・1等空佐	1佐	58歳
		2等陸佐・2等海佐・2等空佐	2佐	57歳
		3等陸佐・3等海佐・3等空佐	3佐	
		1等陸尉・1等海尉・1等空尉	1尉	
		2等陸尉・2等海尉・2等空尉	2尉	
		3等陸尉・3等海尉・3等空尉	3尉	
	准曹	准陸尉・准海尉・准空尉	准尉	56歳
		陸曹長・海曹長・空曹長	曹長	
		1等陸曹・1等海曹・1等空曹	1曹	55歳
		2等陸曹・2等海曹・2等空曹	2曹	
3等陸曹・3等海曹・3等空曹	3曹			
非任期制	士	陸士長・海士長・空士長	士長	—
任期制		1等陸士・1等海士・1等空士	1士	
		2等陸士・2等海士・2等空士	2士	

長崎地方協力本部 援護課

〒850-0862 長崎市出島町2-25 防衛省合同庁舎 TEL.095(826)8846

長崎地方協力本部 相浦駐屯地援護センター

〒858-8555 佐世保市大湯町678 TEL.0956(47)2166 (内)2366・2367



11/14-15 自衛隊長崎地方協力本部援護広報(呉地方総監部)



11/8 自衛隊記念日行事(祝賀会)



11/18 水陸機動団本部高級幕僚 阿部俊文1等陸佐 防衛講話



11/8 自衛隊記念日行事(記念式典)

■自衛隊記念日行事

11月8日(金)、海上自衛隊佐世保地方隊の自衛隊記念日行事が開催されました。祝賀会には、金子容三衆議院議員はじめ、県内外から約600名が参加し交流を深めました。主催者挨拶の中で金子会長は、「本日、全国からお集まりいただいた防衛関連企業の皆様には、是非佐世保に出先機関を立地していただき、自衛隊と一緒になって強固な防衛基盤を築くとともに、佐世保の街づくりにもお力添えをお願いします。」と述べました。

■自衛隊長崎地方協力本部 援護広報

11月14日(木)～15日(金)に、自衛隊長崎地方協力本部の援護広報が実施され、海上自衛隊呉、江田島地区を見学しました。

呉では潜水艦「いそしお」に乗艦し科員食堂と発令所を見学しました。その後は潜水艦教育訓練隊の視察と、呉地方総監 福田達也海将、幕僚長 今野泰樹海将補への表敬訪問を行いました。

翌日は海上自衛隊の交通船で呉湾を視察。街並みは佐世保と似ているものの、潜水艦が何隻も停泊している様子は呉ならではで、迫力がありました。最後に江田島の第術科学学校、幹部候補生学校を訪問。旧海軍時代に建てられた校舎や講堂が現役で使用されており、重厚で美しい佇まいに圧倒されました。

■青年部11月例会 水陸機動団本部

高級幕僚 阿部俊文1等陸佐 防衛講話

自衛隊後援会青年部は11月18日(月)に水陸機動団本部高級幕僚 阿部俊文1等陸佐をお招きし、例会(防衛講話)を開催しました。冒頭、阿部1佐は、先日の自衛隊パレードにおける日米国旗の小旗配布など、日頃の支援に対してお礼を述べられました。講話では年間500回にわたる災害派遣や、近隣諸国の活動状況、水陸機動団の訓練の様子などを紹介いただきました。

シリーズ ～日本遺産をめぐる～

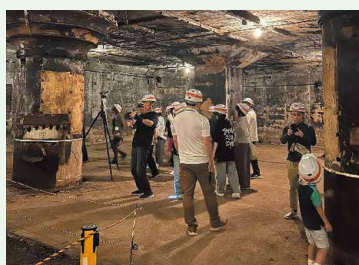
旧佐世保鎮守府防空指揮所跡

所在地：佐世保市平瀬町
見学：予約ツアーでのみ見学可

明治期の日本は、近代国家として西欧列強に対抗すべく、天然の良港に人と先端技術を集積させ、軍港として整備した。そうしてできたのが「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴」である。ここでは、佐世保に残る日本遺産「鎮守府」の構成文化財を紹介する。

第一次世界大戦で初めて実戦投入された航空機は、急速に進歩を続け、艦艇や都市に対して脅威となっていた。佐世保鎮守府でも大正13年に空襲を想定した演習を行っている。昭和10年代に入ると高射砲台の建設が本格化し、昭和17年には鎮守府庁舎地下に防空指揮所も完成した。地下2階、総面積約700平方メートルの規模があり、軍港周辺の見張り所からの情報を統括し、高射砲台の砲戦指揮を行った。

昭和20年6月の佐世保空襲の際に鎮守府庁舎は全焼したが防空指揮所は被害を免れた。戦後に不審火により内装は焼失したものの、堅牢に造られた地下壕本体は健在である。



秘密の作戦会議が開かれていた作戦室



特別に案内いただいた地下2階



11/4 佐世保自衛隊パレード



10/10 させぼ自衛隊グルメ ミステリーツアー



11/4 佐世保自衛隊パレード



10/13 崎辺分屯地開設5周年記念行事

■「ユージーランド」海軍補給艦 初入港

9月14日(土)～18日(水)にかけて、「ユージーランド」海軍の補給艦「アオアロア」が佐世保に初入港しました。環太平洋合同演習への参加、海上自衛隊の護衛艦「せんだい」との洋上補給訓練を経て、補給と休養のため佐世保に寄港しました。

■海上自衛隊佐世保教育隊入隊式

10月2日(水)、佐世保教育隊において第22期一般海曹候補生課程入隊式が執り行われました。全国各地から入隊した53名(うち長崎県出身者4名)は、俵千城総監から一般海曹候補生の任命、訓示を受け、力強く宣誓を行いました。

■させぼ自衛隊グルメ2023-2024 全店舗制覇者特典 ミステリーツアー

海上自衛隊陸上自衛隊佐世保海上保安部のカレーを、部隊提供のレシピに基づき忠実に再現し、佐世保市内飲食店等で提供する「させぼ自衛隊グルメ」事業。昨シーズンに全21店舗コンプリートされた方を対象とした「ミステリーツアー」を開催しました。

■佐世保海上保安部では、

「巡視船ちくご」に乗って佐世保湾内を体験航海！海上自衛隊・米海軍の艦船を間近に眺めながら、楽しい航海となりました。



次に訪れた陸上自衛隊相浦駐屯地では、隊員食堂で本場の「水陸機動団カレー」を喫食！昼食後の施設見学中には、水陸両用車が走行する貴重な瞬間に遭遇し、思わぬサプライズに参加者一同興奮でした。最後に訪れた海上自衛隊佐世保地方総監部では、地下壕(防空指揮所跡)を見学。特別に普段非公開の地下2階までご案内いただきました。懐中電灯の小さな灯りを頼りに真っ暗な地下壕を探検！まさにミステリーなツアーとなりました。

な灯りを頼りに真っ暗な地下壕を探検！まさにミステリーなツアーとなりました。

■陸上自衛隊崎辺分屯地記念行事

10月13日(日)、崎辺分屯地の開設5周年記念行事が開催されました。崎辺分屯地には水陸機動団の隷下部隊である戦闘上陸大隊が置かれており、水陸両用車(AAV-7)の運用等を行っています。

当日は崎辺地区の親子連れなど約200名が来場。水陸両用車との綱引き大会や、入水点検槽を使用した水陸両用車の水上航行展示など様々なイベントで盛り上がりしました。

■佐世保自衛隊パレード

11月4日(月)祝、三ヶ町・四ヶ町アーケードで令和6年度佐世保自衛隊パレードが開催され、海上自衛隊・陸上自衛隊・米海軍の3部隊合わせて約370人が力強く行進を行いました。当後援会青年部では、今年も日米国旗の小旗を配布。三連休中ということもあり、市民だけでなく県外からの観光客も国旗を振って隊員を応援しました。

■令和6年度第1回教育訓練見学

11月6日(水)、陸上自衛隊竹松駐屯地に水陸機動団の教育訓練見学が行われました。水陸両用基本課程(W)の課目「ボート操舟応用」が実施され、海岸でボートを組み立て、手漕ぎで操舟を行った後、上陸してボートを搬送する一連の訓練の様子を見学しました。当日は風が強く大村湾に白波が立つ中、隊員は各々の役割を的確にこなし、強い団結力で着実に任務を遂行しました。

